



日本医療法人協会

平成29年7月1日号

No 397

ニュース

特別レポート

日野頌三名誉会長
旭日中綬章受章
祝う会を盛大に開催

特集 医療法人の外部監査②

外部監査の具体的な進め方と
医療法人が準備すべきことについて



巻頭言

日本医療法人協会常務理事
日本医療法人協会埼玉県支部支部長
医療法人聖仁会西部総合病院理事長

西村直久

特別報告 平成29年度定時総会

加納繁照会長の続投が決定

2期目の目標として

控除対象外消費税問題の解決に向けて

「正念場」と決意表明

A FOREWORD

巻頭言

埼玉でも協会活動を強化中！



西村直久
日本医療法人協会常務理事
日本医療法人協会埼玉県支部
支部長
医療法人聖仁会西部総合病院
理事長

会員の先生方には日頃より大変お世話になっております。このたび、平成29年度日本医療法人協会総会において、役員として2期目の機会をいただきました。医療・介護業界にとって激動の時代、昨年度に引き続き常務理事を仰せつかり身の引き締まる思いです。

「2025年モデル」に向けての試金石となる平成30年4月の改定がいよいよ迫ってまいりました。診療報酬と介護報酬の同時改定および医療法の改正等々、財源不足のなかでどのようなものになるのか気が気ではありません。私が支部長を務める埼玉県では、今年2月に主要病院団体による「埼玉県病院団体協議会」を発足し、地域医療構想調整会議に病院団体の代表者を選出するなど、医師会と協調しながら病院の立場で必要な提言をしているところであります。

さて、今年度の岡山県支部に引き続き、「第33回全国医療法人経営セミナー」を埼玉県支部が主催させていただくことになりました。平成30年11月17日(土)、会場は埼玉県さいたま市大宮区のパレスホテル大宮で、前日16日(金)には前夜祭を予定しております。同時改定直後

のセミナーということもあり、現在、セミナー内容や前夜祭も含め、鋭意企画検討中です。

さいたま市は、人口128万人で全国第5位、都心から1時間圏内に位置し、各地からの交通アクセスも良好です。地域医療構想においても医療需要・介護需要ともに高く、今後の高齢化の進行が日本一早いこともあり、全国的にも注目されています。とかく埼玉県といえますと、隣接する東京都に目が行きがちですが、周囲を1都6県(千葉県・茨城県・栃木県・群馬県・長野県・山梨県)に囲まれ、北西部には秩父連峰や長瀨の清流、県中央部には武蔵野の雑木林や見沼田んぼといった自然豊かな街並みが広がっています。サッカー日本代表戦や、熱烈サポーターで有名な浦和レッズのホームグラウンドである「埼玉スタジアム2002」、さいたま新都心に位置する「さいたまスーパーアリーナ」といった大規模集客施設による賑わい、観光では蔵造で有名な「小江戸」と称される川越市の街並みなど、都市と自然が調和したとても住みやすい県です。来年の話ではありますが、おもてなしの精神で皆様をお迎えできるよう努めてまいります。

最後となりますが、加納会長をはじめ役員の皆様のご指導を賜りながら、医療界ならびに日本医療法人協会の発展に尽くしていく所存であります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。